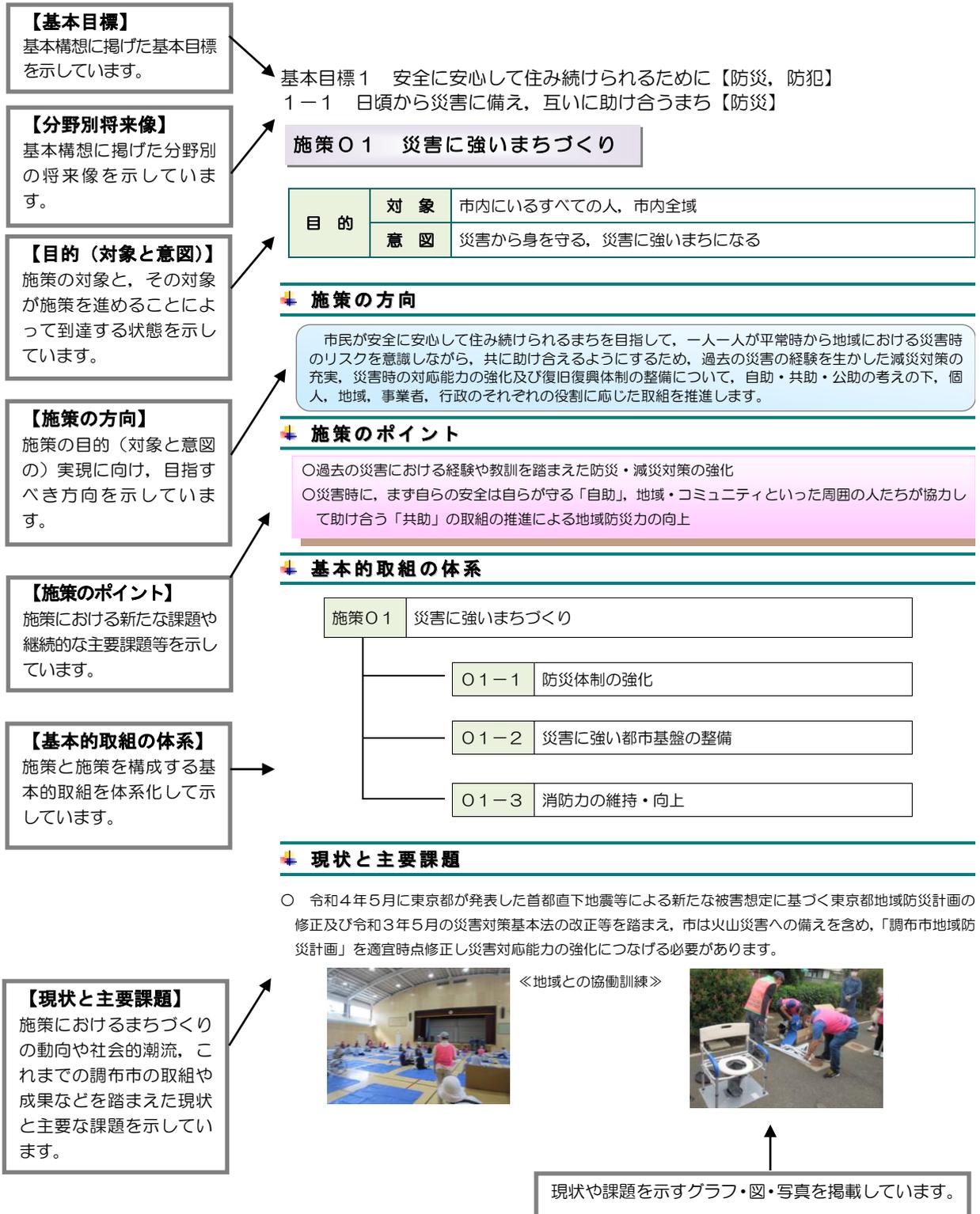


第3編

分野別計画

- 第1節 安全に安心して住み続けられるために (施策01~02)
- 第2節 安心して子どもを産み育てられ、将来を担う子ども・若者が
力を発揮できるために (施策03~05)
- 第3節 みんなで支え合い、いつまでも心穏やかに暮らすために (施策06~11)
- 第4節 学びやスポーツを通じ、誰もが充実した毎日を過ごすために (施策12~13)
- 第5節 多様性を認め合い、安心して自分らしく暮らせるために (施策14~16)
- 第6節 調布ならではの魅力にあふれ、活気に満ちたまちにするために (施策17~21)
- 第7節 地域の特徴を生かした快適で利便性に富むまちをつくるために (施策22~26)
- 第8節 豊かな自然と人が共生する、持続可能なまちをつくるために (施策27~30)

分野別計画における各施策の見方



【基本的取組の内容】

施策の成果向上を図る基本的取組の主な取組を示しています。

基本的取組の内容

01-1 防災体制の強化

◆自助・共助の取組の推進による地域の防災体制づくり

自助による防災対策の取組として、家具転倒防止対策やローリングストックを活用した備蓄の推進のほか、あらかじめ避難行動の準備となるマイ・タイムラインの作成など、市は、平常時からの防災意識の啓発に向けて更に取組を進めます。また、総合防災訓練をはじめ、市が実施する訓練や出前講座、防災フェア等を通じて市民一人一人の防災における自助意識を醸成するとともに、共に助け合う共助による地域の防災体制づくりの普及促進を図ります。併せて、地域に根差した防災活動の主体となる防災市民組織の支援や育成を図ります。

まちづくり指標

まちづくり指標	現行計画策定時	基準値	目標値 (令和8(2026)年度)
市の訓練に参加または訓練を実施した防災市民組織の割合	—	60.0% (R3)	➔

【まちづくり指標】

基本的取組ごとに、事業の実指標とその目標値の方向を示しています。

原則として、現行基本計画策定時は2018(平成30)年度以前、基準値は2021(令和3)年度、目標値は2026(令和8)年度の数値の方向性を矢印で示しています。今後、市民アンケート調査の結果などを踏まえ目標値の設定を行います。

基本計画事業候補

事業名	地域防災力の向上	担当課	総合防災安全課	重点1
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に対する備えに関する意識醸成を図るため、利活用しやすい媒体での啓発を行います。 ・自治会や地区協議会、防災市民組織など、地域における多様な共助組織が訓練等を通じてそれぞれ有機的な連携を図ることにより災害対応能力の向上を図ります。 			

【基本計画事業候補】

基本的取組ごとに、主要な事業候補の概要を示しています。

新たに開始する事業については「新規」と標記しています。

なお、重点プロジェクト事業については、表の右上に「重点1」等を表示し、5つのプロジェクトの位置付けを示しています。

計画期間(4年間)における年度別計画(年度ごとの取組内容及び計画事業費)については、今後、中長期的な財政フレームや2023(令和5)年度予算編成を踏まえ示していきます。

施策の推進、成果向上の視点に関する取組事例(案)

デジタル技術の活用

ODIS等の災害情報システム等を活用した災害時における情報共有体制の構築

共創のまちづくり

○女性・高齢者・障害者・乳幼児への対応をはじめ、共生社会に配慮した地域との協働の避難所開設・運営訓練の実施

脱炭素社会の実現

○ローリングストックの視点を踏まえた備蓄品におけるフードロス対策の推進

フェーズフリー

○フェーズフリーの視点を踏まえた平常時に利用している施設や物品について災害時における利活用

【施策推進、成果向上の視点】

施策の推進及び成果向上に資する4つの視点である「デジタル技術の活用」、「共創のまちづくり」、「脱炭素社会の実現」、「フェーズフリー」に関連する取組の方向(事例案)を示しています。